

教員への夢を先輩がサポート

小・中学校の現職教員が学生に現場の「今」を伝える

教 員は、これから10年ほどの間、大量退職ともなう大量採用が続くとされています。教員を目指す学生には大きなチャンスですが、採用後にベテラン教員から知識や経験を受け継ぎにくくなることは大きな問題。そこで、香川大学と香川県教育委員会は、2003年度から公立小・中学校の教員を期間限定で教育学部の教員として採用する「交流人事制度」を全国に先駆けてスタートしました。11年目の現在、香川大学には小学校

から大西えい子先生と池西郁広先生、中学校から谷本里都子先生が、准教授として教師を口指す各学部の学生たちに指導を行っています。

実践力を養う

現場を知り抜いた先生方の講義には、より実践的な内容が盛り込まれています。その中から3つの授業を紹介します。

学生が先生役を務めて仮想の学級・学年を設定し、演習形式で学ぶ授業では、課題解決力を養います。また、

服装違反などの事例に対してロールプレイを行う授業では、その対応に対して他の学生が意見を出し合います。特に難しい思春期の子どもへの接し方をさまざまな角度から考えることで、実践的な生徒指導力を身に付けることができます。さらに、近隣の小中学生を招いて学生が先生役を務める授業では、子どもたちの活動の準備を経験することで、授業づくりの基礎を養うことができます。

する先生方からの助言も、学生には心強い存在。また、アドバイスを求めて、教育実習や教員採用試験に悩む多くの学生が先生方の研究室を訪れています。

教員の魅力を伝える

授業等を通して、教育の現場で役立つ、自らの体験に基づいたベテラン教員の教育技術等を伝授しています。さらに教員として働く明確なイメージや志を育てるのも先生方の大切な役割。谷本先生は、子どもとともに感動を味わい、子どもとともに成長できる教師になってもらいたいと学生に指導しています。大西先生は、子どもの成長を保護

者や同僚とともに喜び合える教員の仕事には、未来を創る大きな責任とやりがいがある。と教員の魅力を伝えていきます。池西先生は、見えないものを見る心の口をもち、子どもや保護者からさまざまなことを教えていただいているという謙虚な気持ちをもった上で、誇りある仕事をしたいと心構えを語ります。交流人事教員としての期間が終了すると、3人の先生方は、それぞれ小・中学校に戻ることにあります。教員になる夢に向かって前進する学生をサポートしながら、先生方は先輩として香川大学で指導した若い先生たちと一緒に働く日々を心待ちにしています。

池西 郁広

IKUHIRO IKENISHI
いけにし いくひろ
教育学部
学校教育講座(教職実践)
専門分野: 国語力育成のための実践的研究



大西 えい子

EIKO OONISHI
おおにし えいこ
教育学部
学校教育講座(教職実践)
専門分野: 家庭教育の実践的研究、幼小連携に関する実践的研究



谷本 里都子

RITSUKO TANIMOTO
たにもと りつこ
教育学部
学校教育講座(教職実践)
専門分野: 道徳教育の実践的研究、社会科教育の実践的研究

